

日に日に暖かい日が増え、過ごしやすい季節になりましたね。
桜も満開を迎えいよいよ春本番となりました。
みなさまいかがお過ごしでしょうか。
先日、アメリカロサンゼルスで第94回アカデミー賞の授賞式が行われ、
濱口竜介監督の「ドライブ・マイ・カー」が国際長編映画賞を受賞しました。
日本映画の同賞受賞は2009年の「おくりびと」以来13年ぶりだそうです。
日本では昨年の夏に公開されていますので、もうご覧になられた方も多いかと
思います。
タイトル通りドライブシーンがとても印象的で、人間の内面を車の中での日常
会話を通して表現されていました。
約3時間という長さを感じさせない引き込まれる映画でしたね。
今年もコロナの影響で宴会のようなお花見はまだ難しいですが、感染対策
を心がけ、歩き花見などいつもと違うスタイルで桜を楽しみましょう。

▼ INDEX ▼

- | | |
|----------|------------------------|
| 【技術関連情報】 | ・ 面倒れ |
| 【関連製品紹介】 | ・ レーザースキャンニングユニット |
| 【お知らせ】 | ・ 電子部品入手難による納期遅延につきまして |

■ 技術関連情報 ■

面倒れ

2D、3Dのレーザプリンタや皮膚処置や網膜スキャンなどの医療アプリケーションやLiDAR用途で広く使用されるポリゴンスキャナは多面鏡を連続的に回転させ光を走査する光偏向器です。
このポリゴンミラーは樹脂成型やアルミ等を高精度の鏡面加工の切削研磨により製作されます。
ポリゴンミラーの製造に求められる静的な仕様の1つに面倒れ精度があり、ミラーの各面でわずかでも角度誤差（傾き）が生じるとレーザ光を走査した際に走査線の間隔にばらつきが生じると均一な画像を形成することができません。
そのミラー面の倒れによる走査位置のずれを補正する手段として、シリンドリカルレンズを用いてミラー面上で副走査方向にのみ結像させ、副走査方向でポリゴン面と感光体上の結像位置とを共役関係にすることで、面の倒れが副走査方向の走査線のピッチズレにならないよう結像することができる光学系による補正方法があります。
他には面倒れ量を測って、ガルバノミラーや音響光学偏向器（acousto-optic deflector AOD）を用いてレーザ走査角度を正確に調整する機械スキャナの方式などあります。

弊社ではポリゴンスキャナ、レーザースキャンニングユニット用いた検査装置の設計・製造にも対応しております。
ご質問、ご相談がありましたらお気軽にお問合せ下さい。

▼お問い合わせはこちら▼
<https://alt.mrc-s.com/contact/>

日本電産コパル電子
<http://www.nidec-copal-electronics.com/j/product/list/017001/>

オプトロニクス-面倒れ-

(立尾)

■関連製品情報■

レーザースキャンニングユニット

弊社では、技術関連情報でご紹介した、レーザースキャンニングユニットでお客様のご要望にお答えしております。
計測用ユニット、加工用ユニットの実績があります。
お困りの案件がございましたら是非お気軽にお問い合わせ下さい。

▼レーザースキャンニングユニット カタログダウンロードはこちら▼
<https://alt.mrc-s.com/laserscanner/>

■お知らせ■

1. 電子部品入手難による納期遅延につきまして

現在 電子部品の入手が非常に悪くなっております。
当社におきましてはお客様にご迷惑をおかけしないように調達していますが
ご希望の納期にお応えできない恐れもあります。
ご多忙の中と存じますが、余裕をもってご発注頂けますよう
ご配慮のほどよろしくお願い申し上げます。